

あなたの感性に響く 絵本に出会えますように

実 際に、絵本を読む楽しさを知ってもらうために活動している人たちがいます。

有田川町にはボランティアで読み聞かせを行っている団体がいくつかありますが、そのうちの一つがおはなしサークル「つくしんぼ」。現在代表を務めている前里子さんをはじめとする5人に、お話を伺いました。

「つくしんぼ」の はじまり

おはなしサークルつくしんぼは結成12年目。きっかけは何だったのでしょうか。

「昔、話し言葉の講習会っていうのがあって『せっかく勉強したんやから、何か立ち上げへん？』って、当時の金屋図書館の職員さんに声をかけてもらって」と教えてくれたのはメンバーの一人、増谷さん。

この日集まってくれたメンバーのうち、前さん・安井さん・木村さんは約2年前から参加。安井さんがサークルに入ってきたきっかけは「絵本に興味があるというか、読んであげたいな、自分も楽しんでやりたいなというのがある」。これには今回参加してくださったメンバー全員が同意。自分が楽しむのが一番のようです。

絵本の面白さ

普段絵本を読まない人にとって、読むきっかけになるような言葉をいただきました。

「大人が読んで深いなあと思う絵本はいっぱいあります。」

魅力的ですよ。外国の絵本は日本人と考え方や、捉え方が違ったりして。そういうのも勉強になるんじゃないかな」

「まずは図書館へ来て、(貸し出しの)カードを作ってもらえたら」「まず最初は、本に親しみを持ってもらいたいなあ」

絵本を読むのには 10分もかからない

現在はメンバーとして、読み聞かせの活動をしています。「自分の子どもには全然読み聞かせしてあげられなかった。心の余裕もなくて。忙しかった。今から思ったら絵本読む時間なんて短時間やったのになって思うわ。5分、10分やのに」と当時を振り返る声。子育て中の方以外でも、絵本を読もうと気張らず、そつと表紙をめくることで新しい世界が発見ができるのかもしれない。

「何回も読みたいと思える絵本にみんなが出会えたらなあって思います。たくさんじゃなくてもいいと思う。自分の感性に響く絵本に出会えたら」



写真は「おはなしサークルつくしんぼ」のメンバー。(写真左から)前里子さん、岡本祥子さん、増谷由紀子さん、安井智子さん、木村祥子さん。

現在、おはなしサークルつくしんぼは18人のメンバーで活動中。今年で12年目を迎え、さらに活動の場を広げたいと言います。読み聞かせの依頼は金屋図書館まで。メンバーも募集しています。